

## 芝生が交流を生む 「杉並区版エコスクール」

杉並区では、環境にできるだけ負担をかけない学校施設づくり「杉並区版エコスクール」の中で、校庭の芝生化に取り組んでいます。校庭を全面芝生化



にして12年がたつ杉並区立和泉小学校では、PTAや地域の人々が芝生の維持管理をしている「和泉グリーンプロジェクト（GP）」があります。芝生の管理のみならず、「和泉グリーンコンサート」や「サマーキャンペーン」等、芝生の校庭だからこそできる



イベントを企画し、子供たちの心を育み、学校、保護者、地域の信頼の絆を深めています。

## 私たちがからはじめる 「杉並区中学生環境サミット」



杉並区では、未来を担う中学生が体験や発表をとおして環境問題を理解し、問題の解決に向けて行動する力を養うことを目的に、「杉並区中学生環境サミット」を開いています。

サミットでは、各学校での取り組みについての発表も行われ、中学生同士で学び合う場となっています。2012年は、区内の公立中学12校34名が参加しました。全5回の会期で、参加した中学生たちは環境

のために自分たちができることなどについて真剣に話し合い、9月の発表会では、作成した「すぎなみ版チェックシート」を使って取り組んでいくことを表明しました。



## 学生もマイバッグが大好き 「レジ袋削減の取り組み」

買いものをするとき、レジ袋をもらわず、マイバッグを持参すればレジ袋の節約ができます。杉並区では、2008年4月に「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」を施行し、区民や事業者と一体になってレジ袋を減らす取り組みを進めています。必要以上にレジ袋を使わないことから生活習慣を見直し、よりよい環境を残すために区内団体や大学・高校生が「マイバッグキャンペーン」などのイベントを行ったり、区内の大学・高校生が作成したポスターを掲示するなど、積極的な取り組みをしています。

